

秋田県における 1 才 6 カ月児健診の地域化に関する研究

その 3. アンケートからみた市町村の対応状況

伊 藤 玲 子* 石 塚 志 津 子*
秋 田 県 環 境 保 健 部 公 衆 衛 生 課

I はじめに

昨年¹⁾の 1 才 6 カ月児健康診査に関する厚生省通達¹⁾への県内 69 市町村の対応は、実施したのが 36 市町村 (52.2 %) であるが²⁾、今年³⁾は残りの 33 市町村もすべて実施にふみきった。この両群に対し、それぞれ、今年 11 月にアンケート用紙を用い郵送によりその状況を調査した。

なお、市町村主体として打出された本事業に対する県側の働きかけとしては、「1 才 6 カ月児健康診査の手引き」³⁾、「健康診査票」、ならびに「受診前質問票 (アンケート用紙) 」を作成し、全市町村の担当者 (事務担当者、保健婦) に説明し、あわせて研修会を行なった。

II 調査内容

今年よりの 33 市町村には、昨年と同様の別紙 1 の質問項目を用い、両者の比較を目的とし、2 年目の 36 市町村には、別紙 2 の如く前年度との対応の変化を知る項目を加えた。

III 調査結果

アンケート用紙への記入者の代表は、69 市町村の中、2 町が衛生担当事務員のほかは、保健婦である。

A 今年より実施の 33 市町村について

表 1. 実施初年度の 33 市町村アンケート回答

(記入者 保健婦 32, 事務 1)

		53 年 (33 市町村)	52 年 (36 市町村)
1. 1 才 6 カ月児健診の実施	イ. 既存事業をふりかえ	17 (51.5)	23 (63.9)
	ロ. 新規事業として追加	16 (48.5)	10 (27.8)
	ハ. その他 (混合)	0	3 (8.3)
2. 計画・立案の主役	イ. 保健婦	21 (63.6)	19 (52.8)
	ロ. 担当課 (係) 事務	6 (18.2)	10 (27.8)
	ハ. 担当課 (係) 長	5 (15.2)	7 (19.4)
3. 事業計画の難点 (ダブルチェック)	イ. スタッフ依頼	16 (48.5)	16 (44.4)
	ロ. 会場	12 (36.4)	4 (11.1)
	ハ. 予算	3 (9.1)	4 (11.1)
	ニ. 対象把握	0	1 (2.8)
	ホ. その他	0	3 (8.3)
	ヘ. 特にない	0	12 (33.3)
4. 予算上の追加 (ダブルチェック)	イ. 医師・心理・助産婦謝金	25 (75.8)	24 (66.7)
	ロ. 臨時職員人件費	10 (30.3)	7 (19.4)
	ハ. その他 (器材・消耗品)	3 (9.1)	3 (8.3)
	ニ. 答なし	0	9 (25.0)
5. 健診への住民反応	イ. 関心がある	24 (72.7)	27 (75.0)
	ロ. あまりない	9 (27.3)	6 (16.7)
	ハ. 答なし	0	3 (8.3)
6. P. R の方法 (ダブルチェック)	イ. 個人通知 (該当者)	31 (93.9)	34 (94.4)
	ロ. 広報	27 (81.8)	21 (58.3)
	ハ. 推進員・愛育班呼びかけ	8 (24.2)	8 (22.2)
	ニ. 有線放送	1 (2.8)	2 (5.6)

* 秋田県衛生科学研究所

		％
1. 実施にあたり苦勞した点	イ, スタッフ依頼	12 (33.3)
	ロ, 実施の時間・場所	3 (8.3)
	ハ, その他(対象児多い)	2 (5.6)
	ニ, 特にない	19 (52.8)
2. 保護者の反応	イ, 関心がある	33 (91.7)
	ロ, あまりない	1 (2.8)
	ハ, ほとんどない	1 (2.8)
	ニ, 記入なし	1 (2.8)
3. 実施法で改善した点	イ, ない	17 (47.2)
	ロ, ある	19 (52.8)
	i 健診手順	6
	ii 健診内容	7
	iii スタッフ増員	2
	iv その他	6
6. 加えたい健診項目	イ, ない	24 (66.7)
	ロ, ある	12 (33.3)
	i 聴力検査	2
	ii 視覚検査	1
	iii 発達検査	2
	iv 歯科衛生の実地指導	3
	v 食事量調査栄養指導	2
8. 精神発達検査	イ, 行っていない	17 (47.2)
	ロ, 行っている	19 (52.8)
	i 児相判定員による	1 (5.2)
	ii 児相の指導で保健婦が	1 (5.2)
	iii 絵本・積木で保健婦が	10 (52.6)
	iv アンケート, 問診で観察	7 (36.8)
9. 県・保健所への希望	専門医がほしい	3
	保健婦協力	7
	栄養士協力	2
	研修の機会を多く	4
	歯科医, 歯科衛生士不足	2

1 表1に今年より実施の群と昨年実施群とを比較して示してあるが、33市町村(以下市町村略)の中、17(51.5%)がこれまでの1才又は2才児健診の振替とし、新規事業として追加16(48.5%)で、昨年開始の群の10(27.8%)に比し新規扱いが多い傾向の如く伺われるが、振替事業を持たない町村の多いことも考慮しなければならない。

2 健診計画の主役が保健婦21(63.6%)、事業計画の難点として、スタッフの依頼16(48.5%)、予算上の追加は医師、心理判定員、助産婦等の謝金25(75.8%)、住民の関心あり24(72.7%)、PRに際して個人通知31(93.9%)等は、昨年実施群とほぼ同様の傾向をみた。

昨年からの群とで特に目立ったことは、計画の際、会場について苦勞した所が12(36.4%)で、昨年の4(11.1

%)に比し多い。

B 実施2年目の36市町村について

1 実施にあたり苦勞したことは、昨年と同様スタッフ依頼12(33.3%)で、ほかに会場と時間3(8.3%)、対象児が多い2(5.6%)などがあげられているが、昨年と異なり予算をあげているところはない。保護者の反応で、関心あり33(91.7%)で、昨年の27(75.0%)より理解が得られる傾向となってきた。

2 昨年に比し実施方法で改善した点について「ない」17(47.2%)「ある」19(52.8%)で、その内容は、健診手順、健診内容、スタッフ増員などである。

3 健診票の項目で追加希望が「ない」24(66.7%)「ある」12(33.3%)で、その内容は、聴力検査、視覚検査、発達検査、歯科衛生の実地指導、食事量調査など

積極的な姿勢がみられた。

4. 精神発達検査を行わない17 (47.2%)、行っている19 (52.8%)で、行っているのうち、心理判定員による1 (5.2%)、保健婦による18 (94.7%) (児童相談所の指導1、絵本と積木で10、アンケート用紙の項目や問診で観察7)で、保健婦の熱意が伺われる。

5. 県や保健所への希望として、専門医がほしい、保健婦、栄養士の協力、研修の機会を多くしてほしいなど訴えている。

C 市町村への保健所の協力状況

表2. 保健所からの協力 (1才6カ月健診)

昭53. 69市町村対

職 種	人 数	市町村数	% (69市町村対)
医 師	1	4	5.8
保 健 婦	1	10	14.5
	1～2	3	4.3
	2	25	36.2
	2～3	2	2.9
	3	15	21.7
	4以上	4	5.8
	5	1	1.4
栄 養 士	1	8	11.6
そ の 他	1	3	4.3
依 頼 せ ず		9	13.0

ダブルチェック

表2に示す如く市町村独自で実施が9 (13.0%) (2市, 6町, 1村)で、この中には対象児が少ないので可能だったとしているところもある。他の60は、医師、保健婦、栄養士のいずれか、又はすべての職種の協力を得ている。

なお、今年度、歯科健診未実施が4 (5.8%)である。

IV まとめ

以上、市町村主体として打出された1才6カ月健康診査について、今年度から実施の33市町村と、2年目の36市町村に分け、アンケートの上からその対応状況を調査した。

1) 市町村の半分 (50～60%) が、他の1才又は2才児健診の振替としているが、今後1才6カ月児健康診査のメリットの上で、どのように評価されるか大切なことと思われる。

2) 市町村主体事業となっているが、87.0%が保健所

スタッフの援助で行なわれている。

3) 健診内容向上への希望として、専門医による健診や研修などが強く出されているが、なかでも保健婦の発達スクリーニング検査への姿勢は、直ちに考慮していかねばならない点と思われる。

文 献

- 1) 厚生省児童家庭局：1才6カ月健康診査の実施について、(1977)
- 2) 熊谷富士雄たち：秋田県における1才6カ月児健診の地域化に関する研究、厚生省心身障害母子保健・医療システムに関する研究報告。
- 3) 秋田県：1才6カ月児健康診査の手引き、(1978)

別紙 1. 53年度 1才6カ月児健診にあたって次のことについてお知らせください。()市町村 記入者()

<p>1. 1才6カ月児健診実施の決定はどのようにして、きめられましたか。 イ. 既存事業(1才又は2才児健診)をふりかえた。 ロ. 新規事業として追加した。 ハ. その他()</p> <p>2. 健診計画の立案者はどなたですか。 (主となる方1人に○をつけてください。 イ. 担当課(係)長 ロ. 担当事務職員 ハ. 保健婦 ニ. その他()</p> <p>3. 事業を実施するにあたっての順序を番号で示してください。 ()イ. 担当係内の話し合い ()ロ. 保健所との話し合い ()ハ. 対象者の把握 ()ニ. スタッフの依頼 ()ホ. 予算 ()ヘ. その他()</p> <p>4. 健診チームの編成について依頼先の記号に○印をつけてください。 イ. 医師会 ロ. 歯科医師会 ハ. 保健所 ニ. 助産婦(会) ホ. 児童相談所 ヘ. 児童委員 ト. 民生委員 チ. その他()</p>	<p>5. 事業計画に際し、最も難かしかったことは何ですか。 (主なもの二つに○をしてください) イ. 健診対象児の把握 ロ. 健診スタッフの依頼 ハ. 実施時間、場所の問題 ニ. 予算 ホ. P.R ヘ. 特になし ト. その他()</p> <p>6. あなたの市町村では1才6カ月児健診への住民の(特に幼児の家庭)反応はいかがでしたか。 イ. 関心がある ロ. あまりない ハ. ほとんどない</p> <p>7. P.Rはどんな方法で行いましたか。 イ. 広報 ロ. 母子保健推進員、愛育班員等の呼びかけ ハ. 個人通知(該当児) ニ. 有線放送 ヘ. その他()</p> <p>8. 健診実施のため、特に予算的に追加されたものは何ですか。 イ. 人件費(パート、臨時職員、その他)) ロ. 医師、心理判定員、助産婦の謝金 ハ. 会議費 ニ. その他()</p> <p>9. 今後、継続していく予定ですか。 イ. していく) ロ. 検討しなおしてから(理由) ハ. しない (理由) ニ. わからない)</p> <hr/> <p>◎ 母子健康手帳の窓口交付状況について、具体的に教えてください。</p>
---	--

別紙 2. 53年度 1才6カ月児健診にあたって次のことについてお知らせください。()市町村 記入者()

<p>1. 実施にあたって一番苦労した点は何ですか。 (一つだけ○印をつけてください) イ. 健診スタッフの依頼 ロ. 対象児の把握 ハ. 実施時間、場所 ニ. 予算 ホ. 特になし ヘ. その他()</p> <p>2. 実施方法で改善した点がありますか。 イ. ある (1)健診スタッフ() (2)健診手順() (3)健診内容() (4)その他() ロ. ない</p> <p>3. 保護者の反応はどうでしたか。 イ. 関心がある ロ. あまりない ハ. ほとんどない</p> <p>4. 保健所からの協力はどうなっていますか。 イ. 医師()人 ロ. 保健婦()人 ハ. 栄養士()人 ニ. その他()人</p> <p>5. 医師等の報償費はいくらですか。 イ. 医師()円 ロ. 歯科医師()円 ハ. 保健婦()円 ニ. 助産婦()円 ホ. 看護婦()円 ヘ. その他()円</p>	<p>6. 健診項目で今後つけ加えたいものがありますか。 イ. ない ロ. ある(具体的に教えてください。)</p> <p>7. 受診前質問票について意見がありましたらお知らせください。</p> <p>8. 精神発達検査は行なっていますか。 イ. いない ロ. いる(具体的に教えてください。)</p> <p>9. 県ならびに保健所への希望</p> <hr/> <p>◎ 母子健康手帳の窓口交付状況について具体的に教えてください。</p>
---	---